

| 邑楽町教育委員会会議録 | |
|-------------|---|
| 開会年月日時刻 | 平成 29 年 8 月 23 日（水）午前 9 時 30 分 |
| 閉会年月日時刻 | 平成 29 年 8 月 23 日（水）午前 11 時 30 分 |
| 開会の場所 | 邑楽町役場 2 階 204 会議室 |
| 議案事項 | 議案第 18 号 平成 28 年度邑楽町教育委員会点検評価報告書について |
| その他 | 1) 平成 29 年度邑楽町教育費補正予算（案）について 2) 平成 29 年 9 月行事予定について 3) 次回教育委員会について 4) その他 |
| 出席者 | 教 育 長 大竹 喜代子 委 員 黒澤 幸男 委 員 岡田 真幸 委 員 谷津 洋子 委 員 中村 郷志 |
| 説明員 | 外部評価委員 福島 慶子 学校教育課長 中繁 正浩 生涯学習課長 半田 康幸 教育委員会書記 高橋 克徳 |

会議録

議長（大竹）

ただ今より、8月定例教育委員会を開会いたします。
それでは今回の議事録署名人を決定いたします。
黒澤委員、中村委員にお願いします。
次に教育長事務報告をさせていただきます。

前回の教育委員会から今回の教育委員会まで、行事予定表を基に主なものを説明させていただきます。7月25日は町内小学校水泳教室記録会が、今年高島小で行われました。沢山の子どもたちが出場し、頑張っていました。同日に邑楽郡教育長会会議が行われました。26日は子ども議会が行われ、中学生16名が模擬議会を行いました。地域の活性化、中央公民館建設のメリット、ごみ問題、高齢化対策、交通安全対策、伝統文化など中学生らしく前向きで、建設的な質問ばかりで、こちらも一生懸命答えさせていただきました。28日は県中体連総合体育大会の開会式が行われ、この総体で邑楽中学校水泳部の女子チームがリレーで大会新記録を出し、全国大会に出場しました。8月16日から18日まで鹿児島で行われた全国大会での予選結果は31チーム中22位でした。29日は演劇研修会が行われました。30日は邑楽町長杯ソフトテニス大会が、町民テニスコートで行われました。8月3日は小学校外国語活動に関わる指導者研修を行いました。これから教科化になる英語をどのようにやっていったらよいかということで、沢山の先生方が外国語活動の授業のあり方を学びました。6日は第61回町内対抗野球大会の1日目でした。7日は町制50周年事業会議が行われ、課長と三役で意見を出し合いました。8日は邑楽中水泳部が、全国大会への出場報告をしてくれました。同日に町民体育祭事前打合せ会議が開かれました。9日は道徳の授業改善研修会が行われ、文科省と県の研究委託を邑楽町が受けているので、よりよい授業づくりについて、先生方が自主的に集まって研修会をしました。13日は町内対抗野球大会の2日目が行われ、前原・光善寺・馬場大林・店高原がベスト4に残りました。雨による延期で、準決・決勝は9月17日に行うことになりました。17日は町民体育祭の団体長会議が行われ、細かいところまで話し合いがなされ、これで当日を迎えるということです。19日は文化財保護調査委員会で、様々な文化財の調査に関する話し合いをしました。同日に少年の主張東毛地区大会があり、今年邑楽南中学校の生徒が出ましたが、残念ながら県大会に行く4人の中には選ばれませんでした。20日はおうら祭りでした。21日は町教職員全体研修会の今年度の2回目が行われました。邑楽町出身のプロのバイオリニストである

会議録

若旅菜穂子さんによる演奏とこれまでどんな教育的刺激があつて、本人がどんな思いで頑張つてここまでたどり着いたかというキャリア教育に絡んでの講演をいただきました。22日は町防災訓練実施打合せ会議が行われました。2年に1回の防災訓練で、9月3日に実施される予定です。今までは青少年広場で行われていましたが、今回は多目的広場で行います。事務報告は以上です。何かご質問等ありましたらお願いします。ないようですので、これで事務報告は終わりにしたいと思います。

最初にお諮りしますが、その他の1)平成29年度邑楽町教育費補正予算(案)については、議会議決案件のため「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条7項及び第8項の規定により、非公開といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔異議なし〕

議長(大竹) 異議なしと認めます。その他の1)平成29年度邑楽町教育費補正予算(案)については非公開にし、公開案件審議終了後に協議します。それでは、議事に入ります。議案第18号平成28年度邑楽町教育委員会点検評価報告書について、中繁学校教育課長説明をお願いします。

学校教育課長(中繁) 教育委員会の点検評価報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき作成し、議会に提出するとともに公表するものであります。平成28年度の教育委員会活動を振り返るとともに、本町教育委員会の基本方針である「教育行政方針」について、教育委員会が自ら事務の進捗状況について点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を反映させていただき作成いたしました。点検評価の内容につきましては、教育委員の皆様には事前にご確認いただいておりますので、本日は学識経験者のご意見をお伺いし、ご承認いただければ議会に提出をさせていただきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

議長(大竹) このことについて何か質疑はありますか。ないようですので、評価委員の福島様より点検評価についてのご意見を伺いたひと思ひます。よろしくお祈ひします。

会議録

外部評価委員（福島）

最初に、魅力と特色ある学校づくりを考えてみました。まず校長のリーダーシップの発揮です。校長はいつでもこの考えを念頭に学校経営をしていく、学校づくりをしていくことが大事で、魅力と特色ある学校づくりにはこれは絶対に欠かせないものです。校長は、「こういう児童生徒にしたい」「こういう学校を作りたい」という強い信念を持ち、具体策として「そのために〇〇する」、実践項目として「〇〇を重点として取り組んでいく」と自分のことばでそれをわかりやすく提示することが必要だと思えます。全教職員が「学校をつくっていくんだ」という強い参画意識を持ち、組織として取り組み、魅力と特色ある学校づくりのために学校長はリーダーシップをさらに発揮していただければと思います。

次に、確かな学力向上を目指す授業改善です。授業を見させていただきますと「はばたく群馬の指導プラン」の活用や、めあて・振り返りの提示を意識した授業は、だいぶ浸透してきています。ただ教師による温度差が少し感じられます。全職員がしっかりとめあて・振り返りが定着できるように一層の推進をしていただければと思います。

また、学び方の定着という学習習慣が大事です。4月当初はクラスづくりがあります。3クラスあるとすると3クラスの子どもたちがそれぞれの学び方で学んできます。新学期を迎え、新しい担任がまた一から始めるとなると、学習習慣づくりに大変な労力を使います。ところが、秋田県のように、学校における学習習慣が統一されていると、学習習慣が既に身に付いていますので、子どもたちは即学習に取り組み、さらに教師の負担を減らすことができます。また最近、小学校においても教科担当制あるいは交換授業などの体制をとり、専門的な知識を活かしながら、組織としていろいろな工夫をしながら取り組んでいるという話を聞きました。その場合においても学習習慣が統一されていれば、担任以外の教師に教わることになっても違和感なく取り組んでいくことができます。さらに、教師の多忙化についてよく言われますが、量的な面で時間の軽減、ノー残業デー等があります。しかし、質的な負担の軽減もあると思えます。つまり、学び方の定着は、労力の負担軽減にも結びつくのではと思います。

次に豊かな人間性の育成ということで、道徳教育の推進を考えてみました。平成30年度から小学校の道徳が、平成31年度から中学校の道徳が「特別の教科 道徳」として教科化されます。子どもたちに豊かな人間性を身につけさせていくということが非常に注目されてきていると思

会議録

ます。道徳性の育成は、理論と実践が両輪となり、理論は学校において道徳の授業で、実践は学校や家庭・地域の場で様々な体験によって養われます。知識を活かして実践の場で活かすという両輪のバランスをとることが大変大事だと思います。一つ一つ分けて考えてみますと、まず道徳の要は授業で、やはり知識として押さえておかななくてはならないことが必ずあります。そのためには、道徳の授業年間 35 週を確保し、1 時間、1 時間を大切に授業を行うことが大事です。それには教職員の指導力をまず向上させるということが必要で、研修に励み指導力をつけていただきたい、また、教職員自らの道徳性をしっかり磨いていただきたいと思います。

それから家庭・地域との連携ですが、家庭・地域は実践力をつける大事な場であり、ぜひ連携を図っていただきたい。学校日より、道徳通信、学級日よりなどで発信をすることもできますし、いろんな会議でも話ができると思います。豊かな人間性を育成する道徳は大事であり、協力・連携が必要だということをお伝えし、実践の場である家庭・地域に自覚して取り組んでもらうことが大事だと思います。

次に道徳の適切な評価についてです。道徳の評価は文章表記で行うわけですが、なかなか難しいことだと思います。一つの例として「ポートフォリオ」がよいと考えます。子どもたちが学習の前・途中・後の学習履歴を記録し、それを積み重ねて自己評価や指導に生かしていく方法です。記録を残していくことが適切な評価につながり、いろいろ工夫しながら積み重ねていくことが大切です。

次に心豊かな生涯学習社会づくりについてですが、まず中央公民館建設の推進と充実についてです。何年も前から何回も話し合いをして取り組んできた中央公民館建設が着工され、日に日にでき上がって完成に近づいてきています。建物が完成した後は、どうやって活用につなげていくかという課題がありますが、ぜひ前向きに取り組んでいただいて、町民にとって誇りに思い、意欲的に活用できる公民館になることを期待しています。また、指導者の育成が大変重要かと思えます。指導者の講座もありますので、ぜひその講座を充実させ、指導者の育成支援に努めていただければと思います。

最後になりますが、地域に根を生やした、たくましい青少年の育成についてです。邑楽町が好きだ、邑楽町のために何かしたい、邑楽町で仕事をしたい、そういう子どもたちがどんどん増えていくには、やはり邑楽

会議録

| | |
|-------------------|--|
| | <p>町が魅力的なところでなくてはならないと考えます。子どもたちのふるさとを愛する気持ちを育てるために、魅力的な町づくりと教育との連携が大事です。学校教育では何ができるか、地域では何ができるか、生涯学習では何ができるか、みんなで子どもたちに関わっていければよいと思いました。以上です。</p> |
| <p>議長（大竹）</p> | <p>ありがとうございました。ご意見をいただいたところですが、ご質問等ありましたらお願いします。ないようですので、いただいたご意見を教育委員会としてしっかり受け止めて、これからの学校づくり、子どもの育成、生涯教育につなげていきたいと思います。</p> |
| <p>外部評価委員（福島）</p> | <p>楽しみにしています。</p> |
| <p>議長（大竹）</p> | <p>それでは、議案第 18 号平成 28 年度邑楽町教育委員会点検評価報告書について、ご承認いただけますでしょうか。</p> <p>（賛同の声あり）</p> |
| <p>議長（大竹）</p> | <p>議案第 18 号平成 28 年度邑楽町教育委員会点検評価報告書についてを提案通り決定します。</p> <p>次にその他の 2) 平成 29 年 9 月行事予定について、中繁学校教育課長・半田生涯学習課長説明をお願いします。</p> |
| <p>学校教育課長（中繁）</p> | <p>学校教育課の 9 月の主な予定行事を読みあげる。</p> |
| <p>生涯学習課長（半田）</p> | <p>生涯学習課の 9 月の主な予定行事を読みあげる。</p> |
| <p>議長（大竹）</p> | <p>このことについて、何かご質問・ご意見等ありますか。ないようですので、次に 3) 次回の教育委員会についてですが、9 月 26 日（火）午前 9 時 30 分からでどうでしょうか。</p> <p>（賛同の声あり）</p> |

会議録

議長（大竹）

それでは次回の教育委員会は9月26日（火）午前9時30分から行うことに決定しました。ここで公開案件は終わりにします。

次に非公開案件に入ります。その他の1)平成29年度邑楽町教育費補正予算(案)についてを議題といたします。

以下非公開

以上で8月の教育委員会を閉会します。